

ノーリツ、「省エネに関する意識」を調査
30代の63%が「節約=エコ」を意識
太陽熱利用の省エネ製品は「光熱費の節約が魅力」と7割が回答

～ 30・40代の8割が補助制度による太陽熱温水器の導入を視野に ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社：神戸市、取締役社長：神崎 茂治、資本金：201億円、東/大証一部上場)は、省エネ家電の購入を促すエコポイント制度をはじめ、国や企業を上げて積極的に地球温暖化対策への取り組みが行われている今日において、生活者が実際にどのくらい省エネをはじめとするエコを意識しているのか、全国の20～70代の1,805人を対象に意識調査を行いました(巻末に概要を記載)。

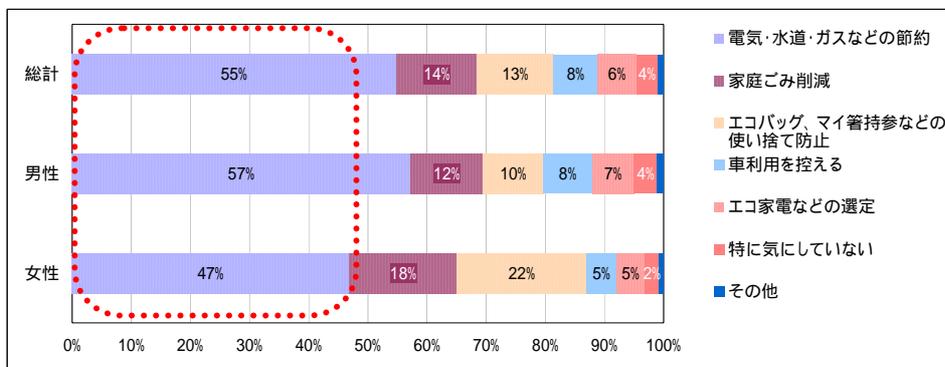
今回の調査で、「節約」という視点からも太陽光エネルギーを利用した「太陽光発電」や「太陽熱温水器」などの省エネ対応型製品への注目の高まりがわかりました。一方で、現状は認知不足や導入コストが負担という意識があり、今後の普及促進のためには自治体による補助制度やエコ製品のさらなる情報発信が必要だと思われます。

30代の63%が「節約=エコ」と回答、「太陽光発電」「太陽熱温水器」への期待高まる

まず、エコロジー全般に関する意識を調べました。あなたが日常一番気にしている「エコ」は？と尋ねたところ、「電気・水道・ガスなどの節約」と回答した人が全体の半数を占め、やはり「節約」はエコの部分でも大きなテーマとなっていることがわかりました。また、**女性は家庭ごみの削減・マイバッグの持参が合計4割**と「無駄をなくす」という意識が主流でした。エコバックやマイ箸の利用は男女で10ポイント以上の差があり、トレンドに敏感な女性にファッションとして既に受け入れられている背景が垣間見られます。

あなたが日常一番気にしている「エコ」は、

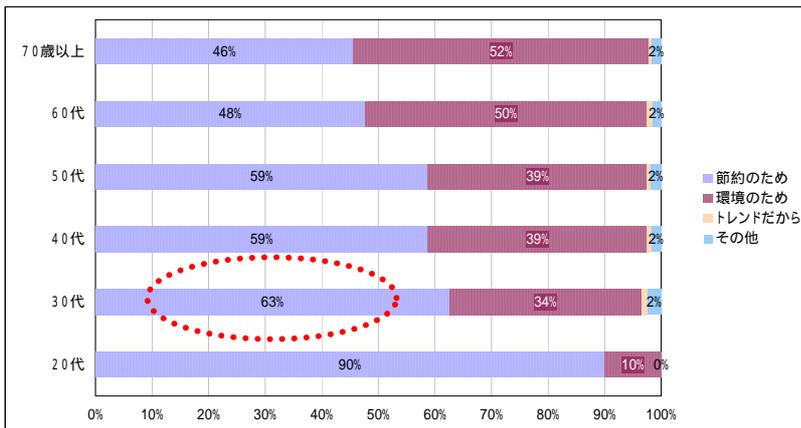
n=1,805



また、エコ活動をしている理由を聞いたところ、若い世代になるほど「節約のため」という理由が最も多くなり、**子育て世代の30代は63%が「節約」と回答しています。「環境のため」と答えた人が半数を超えたのは50代以上で、世代の関心の高さが出ました。**

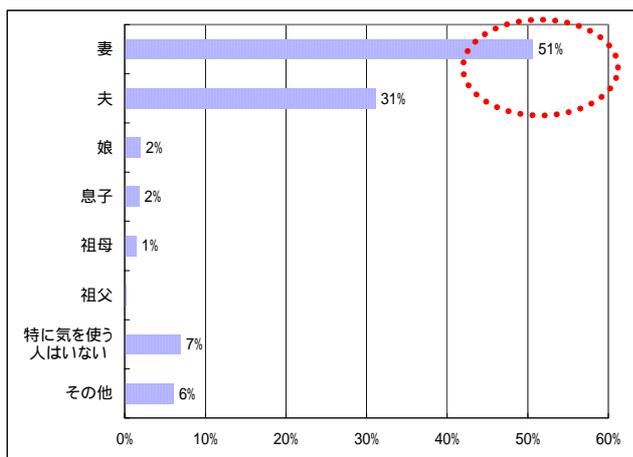
「エコ」活動をしている一番の理由は、

n=1,805



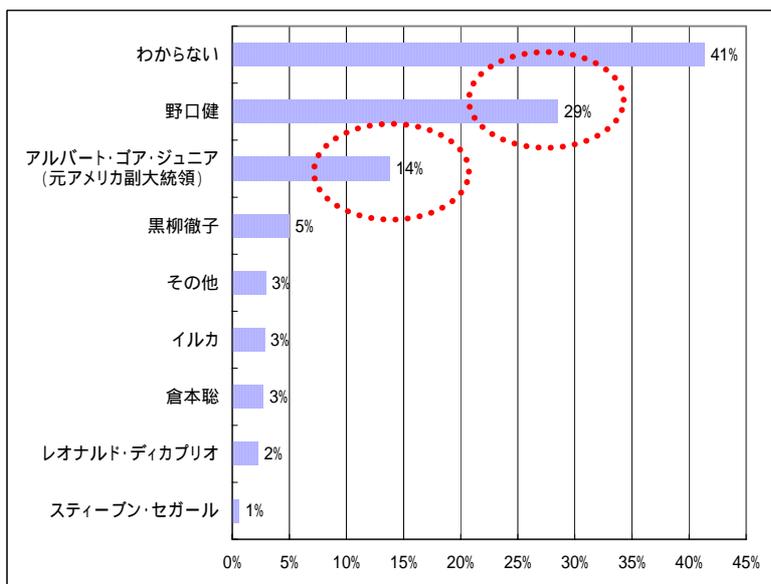
さらに、家庭の中で一番エコに気を使っている人としては「妻」という回答が最も多く、半数の家庭で妻が最もエコについて考え、行動している様子が伝わってきました。

あなたの家庭で一番エコに気を使っている人は、 n=1,805



ちなみに、エコのイメージが強い有名人の1位はアルピニストの野口健さん、2位は「不都合な真実」が世界的ベストセラーになったアルバート・ゴア・ジュニア元アメリカ副大統領でした。積極的に情報発信している人が印象に残っているようです。

エコなイメージが強い有名人を1人あげてください。 n=1,805



今後どんな分野のエコが進むと良いかという問いには、全体で最も多く挙げられたのが「太陽光発電」で68%の人が回答しましたが、女性からは「太陽熱温水器」という意見も33%ありました。自然の力を利用して暮らしに必要な電気やお湯を供給するシステムへの関心が寄せられました。

今後、どんな分野のエコ化がさらに進むと良いと思いますか。(複数回答) n=1,805



50～60代の3人に1人が「太陽光発電」製品への購買意欲を示すいっぽうで、

30代では「購入価格が高い」43%、「購入コストが負担」32%。

次に、住宅での省エネに関する製品について掘り下げて聞きました。

「省エネ」対応型の住宅設備機器・家電製品の認知度をたずねたところ、男女ともに「エアコン」「冷蔵庫」「太陽光発電」の認知度が7割前後となる中で、女性には「太陽熱温水器」の認知度も高く、46%となりました。

あなたが知っている「省エネ」対応型の住宅設備機器・家電製品を選んでください。(複数回答) n=1,805

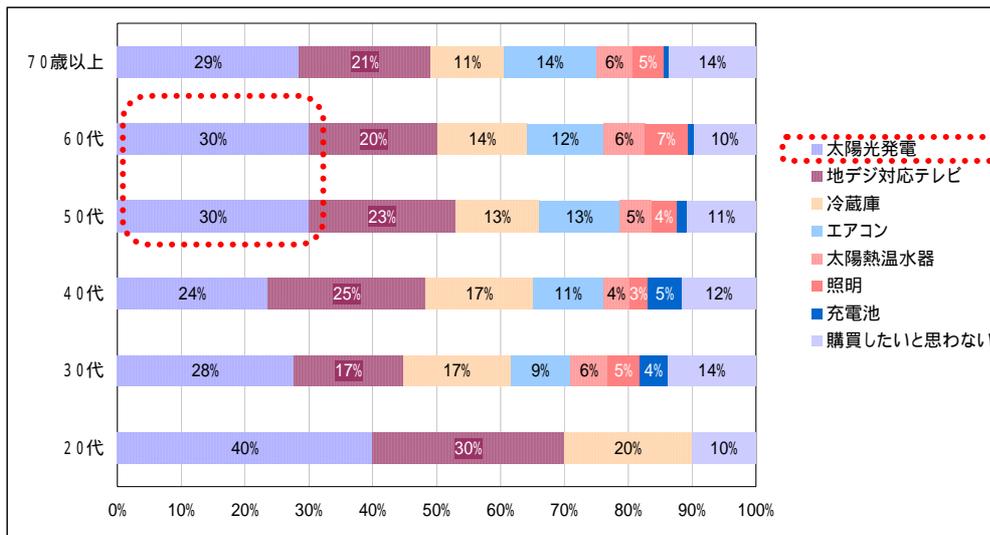


以上の製品の中で、実際の購買意欲を聞いたところ、すべての世代で「太陽光発電」がトップとなり、50～60代では30%と3人に1人の割合となりました。

その理由として「環境への配慮」と回答した人は70歳以上で最も多く、49%となりました。また、同じく「エコポイント制度が魅力」と回答した人も70歳以上が18%と最も高いものとなりました。

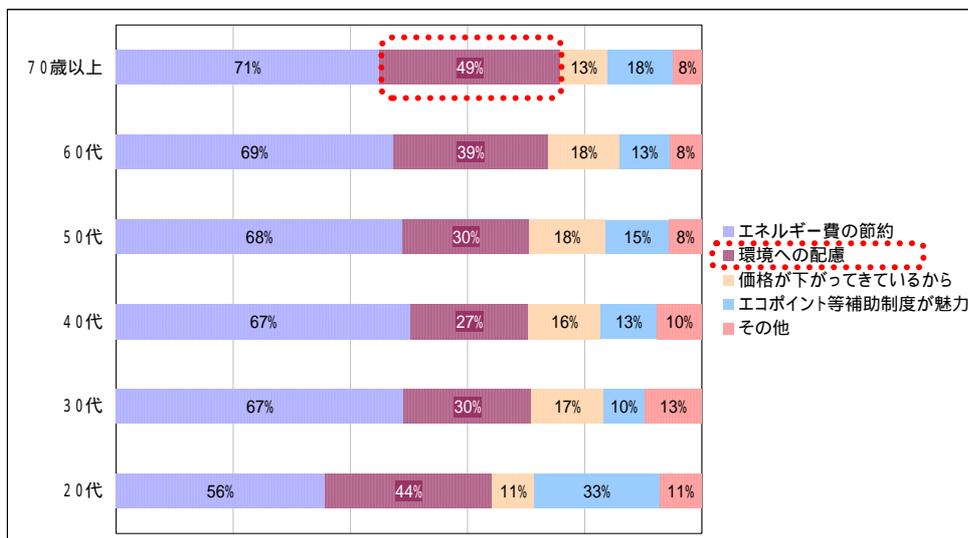
上記のうち今後購買に一番関心があるものを選んでください。

n=1,805



その理由は。(複数回答)

n=1,599

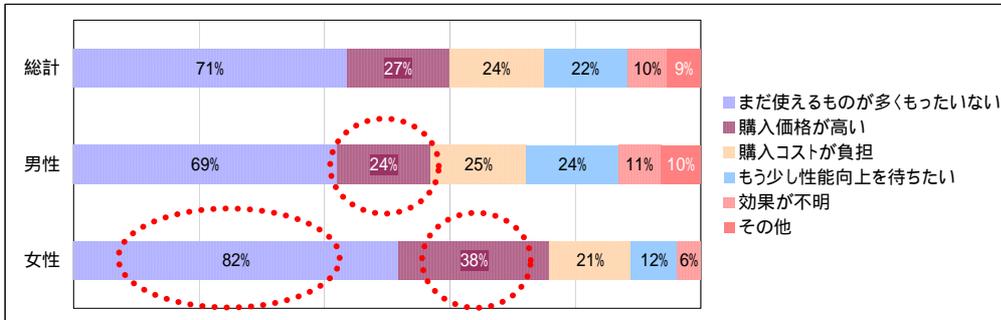


また、省エネ製品について「購入したいと思わない」理由を聞いたところ、**女性は「まだ使えるものが多くもったいない」という回答が8割**でした。「**購入価格が高い**」と思う女性が**38%**いるのに対し、**男性は24%**と男女比で**16ポイント**の開きがあり、女性の方が現状では購入価格に負荷を感じていることがわかりました。

世代別では「購入したいと思わない」と回答した人が**30代と70代**で多くどちらも**14%**となりました。その理由をたずねたところ、若い世代ほど費用面を挙げる傾向があり、**30代では「購入価格が高い」が43%、「購入コストが負担」が32%**と回答しています。

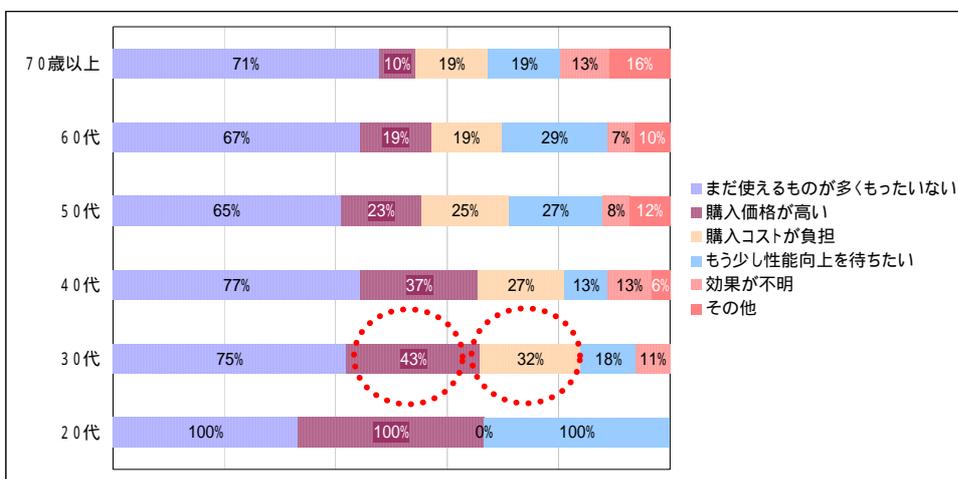
購入したいと思わない理由は。(複数回答)

n=206



購入したいと思わない理由は。(複数回答)

n=206



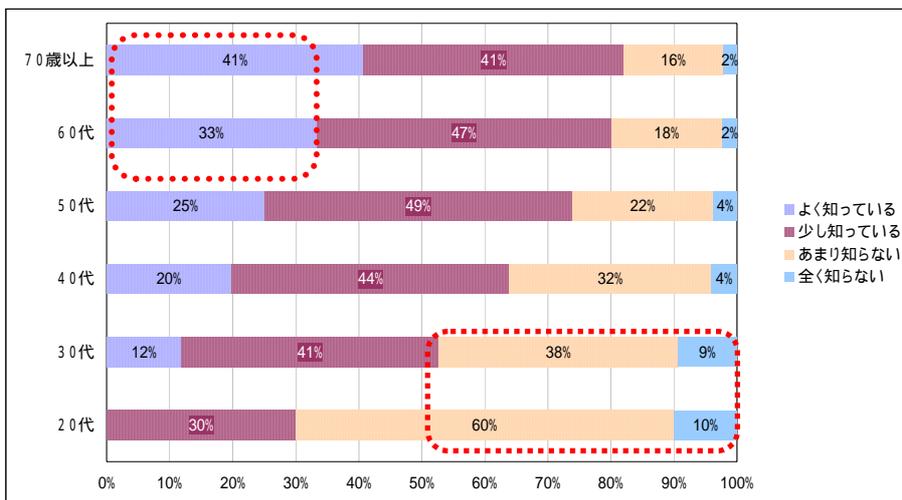
女性の半数が「太陽熱温水器」は「光熱費5割カットだと良い」と回答。

補助制度については30代の45%が「まったく知らない」が、30・40代の8割が導入に関心あり。

「太陽熱温水器」も「太陽光発電」とともに再度注目されている分野の機器ですが、認知度についてたずねたところ、年代があがるほど高くなるという結果となりました。60代以上になると3人に1人が「よく知っている」という回答です。70年代のオイルショックを知らない世代である30代の47%、20代の70%が「知らない」と回答している一方で今後の導入に関心があるかどうかを聞いたところ、30代の意欲が高く「関心がある」「少しある」合わせて44%となりました。

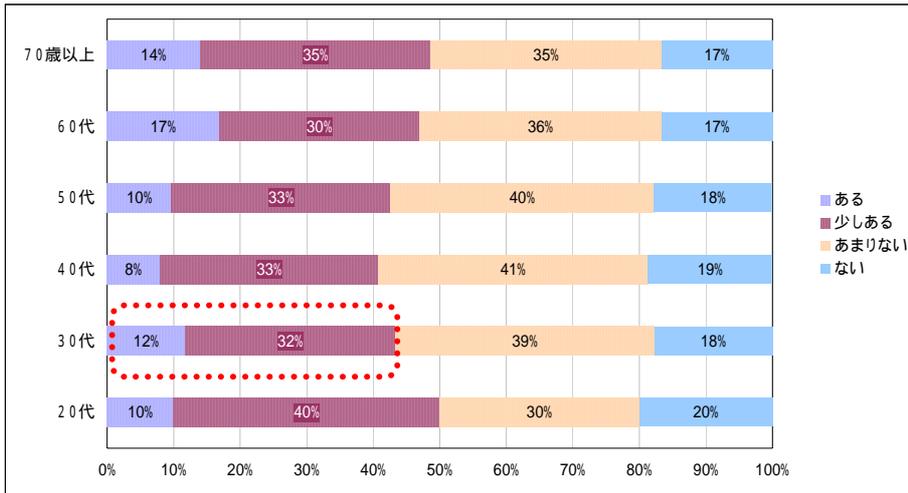
太陽熱温水器とはどんなものか知っていますか。

n=1,805



太陽熱温水器の導入に関心がありますか。

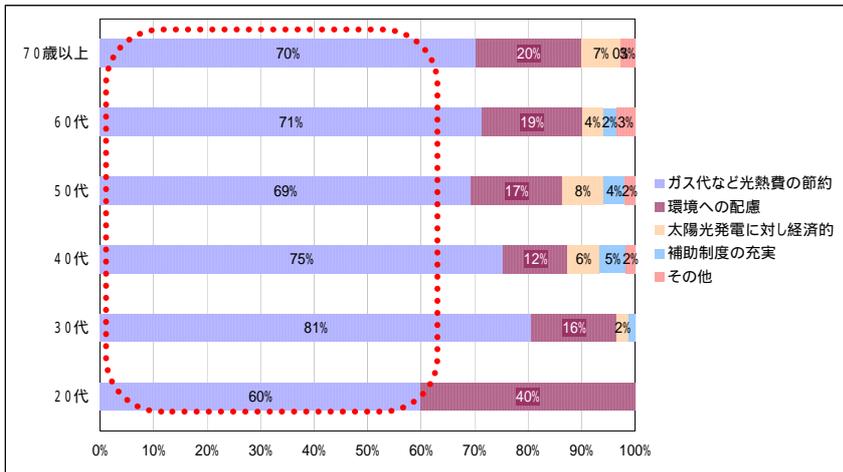
n=1,805



関心がある人にその一番の理由をたずねたところ、**全世代を平均して7割以上の方が「ガス代など光熱費の節約」**を挙げました。また、50代と70歳以上の約1割は「太陽光発電より経済的」と回答しました。太陽の力を使う製品は70年代のオイルショック時に注目を集めました。その記憶がある世代は製品についての理解が深いようです。

関心がある方、その一番の理由は、

n 796
n=796

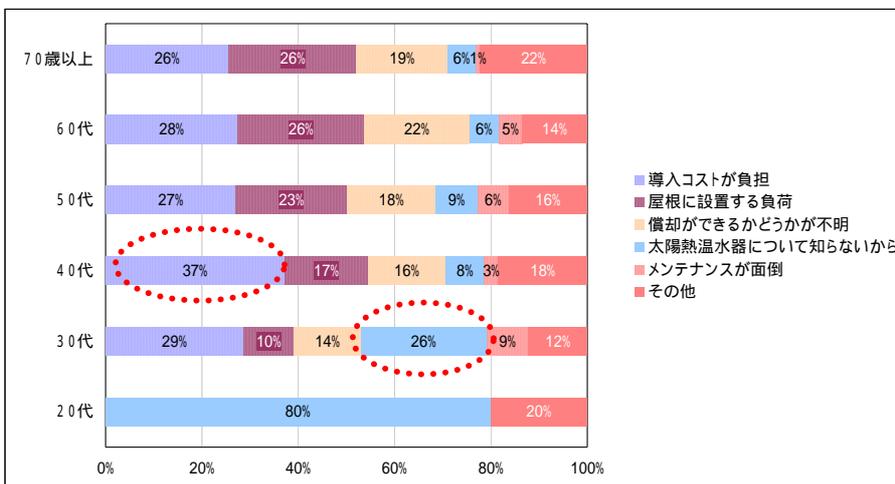


関心がないと回答した人にその理由をたずねたところ、40代の37%は「導入コストが負担」と回答しましたが、30代は26%が「よく知らないから」と回答しました。

太陽熱温水器を使うことで光熱費がどれくらい節約できたらいいと思いますかという問いには、女性の40%が「5割」と回答。この傾向は世代で見ると若い世代になるほど高くなる傾向があります。

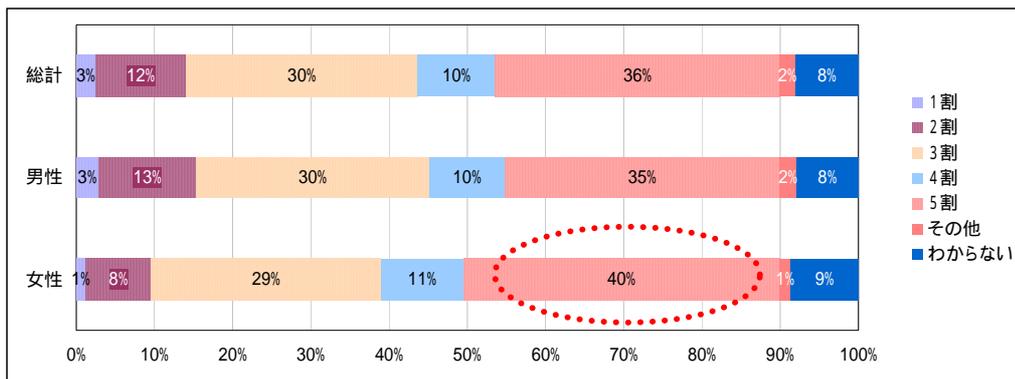
関心がない方、その一番の理由は、

n=1,009



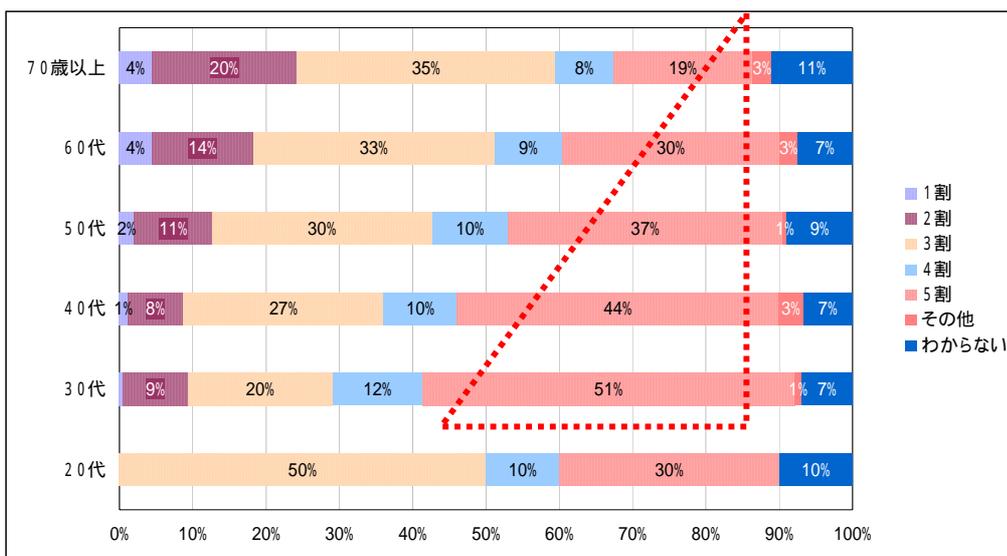
太陽熱温水器を使うことで光熱費がどれくらい節約できたらいいと思いますか。

n=1,800



太陽熱温水器を使うことで光熱費がどれくらい節約できたらいいと思いますか。

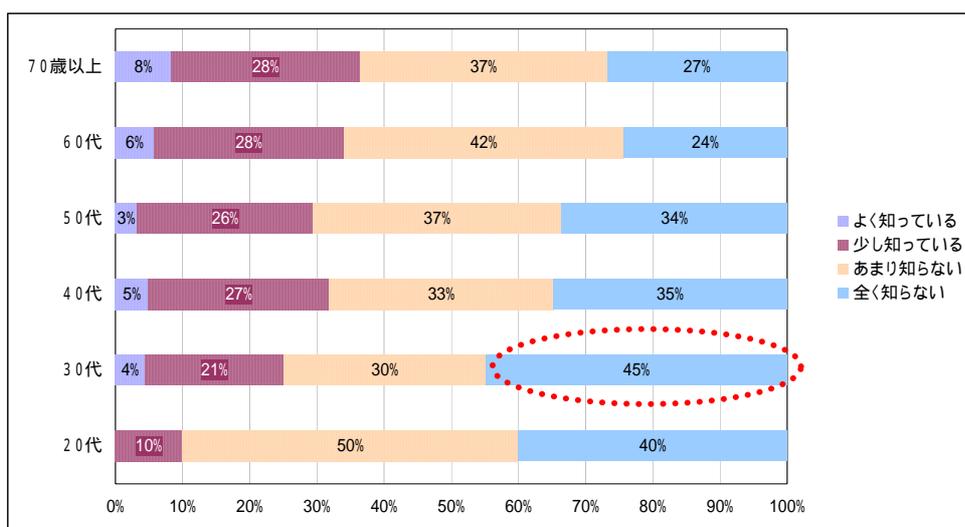
n=1,800



なお、太陽熱温水器に自治体などの補助制度があることの認知率としては、60代以上では「よく知っている」「少し知っている」という回答が3割を超えますが、30代になると「まったく知らない」という人が45%になります。

太陽熱温水器に自治体などの補助制度があることを知っていますか。

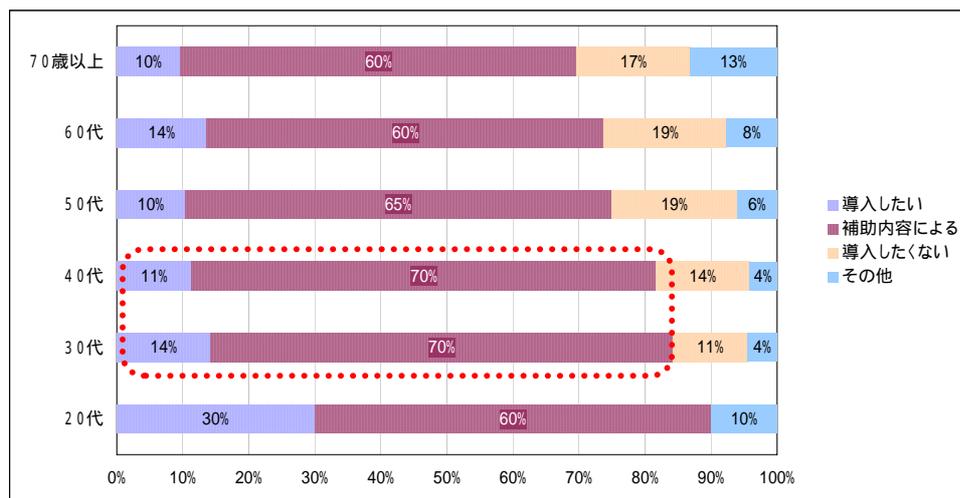
n=1,805



補助制度が活用できるならば今後導入してみたいかどうかについては、若い世代ほど意欲が高い傾向があり、30・40代の8割が「導入してみたい」「補助制度による（内容により導入の意向がある）」という回答となりました。

補助制度が活用できるならば今後導入してみたいですか。

n=1,805



以上のような調査結果から、今後「エコ」への関心の高まりはさらに拡大すると予測し、環境先進企業として環境省から「エコ・ファースト制度」が認定されている当社では、省エネ効果の高い「太陽熱温水器」などの認知拡大のための活動と、さらなる省エネ製品の開発を進めてまいります。

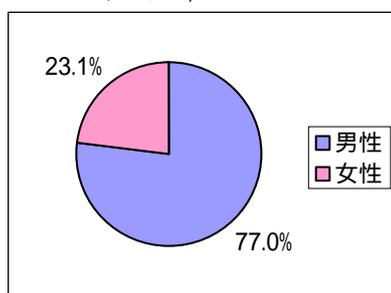
アンケート調査概要

【方法】Web アンケート

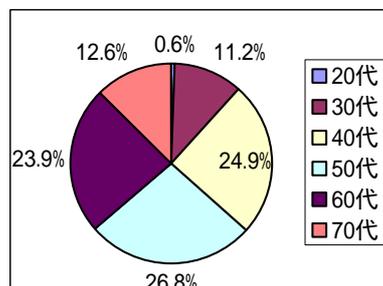
【期間】2009年6月2日～6月5日

【対象】ノーリツインターネットサイト「^{ノーリツスタイル}NORITZSTYLE つかりコムねん」会員（全国の全世代男女）
有効回答数：1,805件（5.6%）

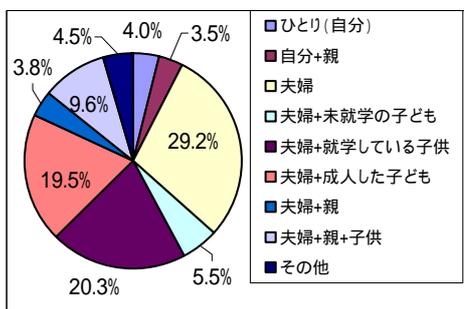
性別 (n=1,805)



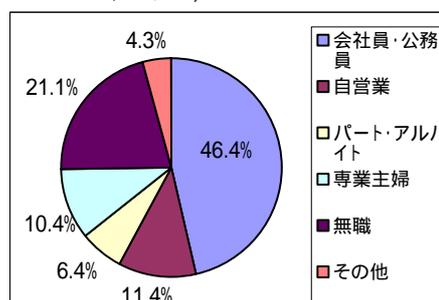
年代 (n=1,805)



家族構成 (n=1,805)



職業 (n=1,805)



当資料は神戸経済記者クラブで配布しています。

お問い合わせ先
 (株)ノーリツ広報・IR 室
 担当: 松田、寺島
 電話: 078 - 334 - 2801

～ 参考資料 ～

1、太陽熱温水器、ソーラーシステムとは

「太陽エネルギー」を身近に利用する手段の代表的なものとして今話題の「太陽光発電」のほかに「太陽熱温水器」があります。屋根に置く集熱器が太陽熱を集熱し、その熱を利用してお湯を作ります。作ったお湯はお風呂のお湯はりやお台所の洗い物にお使いいただけます。通常、太陽熱温水器は給湯器と併用して使用されます。



2、太陽熱温水器の種類

太陽熱利用の温水器には3つのバリエーションがあります。

自然循環タイプ（集熱器と貯湯タンク一体型）

集熱器と貯湯タンクが一体になったタイプ。集熱部分で温められたお湯が自然循環しながらお湯となって貯湯タンクにたまる仕組みになっています。価格は18万～25万円と手ごろで最も多く普及しているタイプです。屋根への負担が比較的大きいことと給湯圧が低いことがデメリットですが、ノーリツのスカイブレンダーを組み合わせることで直圧式給湯器と直結でき、温度が低い場合などに給湯器でお湯を温めて使用することができます。



太陽熱温水器 SJ-421

集熱器と貯湯タンク一体型の強制循環タイプ

集熱器内の不凍液を加熱し循環させて熱交換するタイプなのでムラなくお湯を温め、高い圧力でシャワーにも使用できます。しかも太陽電池で循環ポンプを起動し、不凍液を循環させて熱交換するので効率よく集熱ができます。価格は45万円程度となります。タンク一体型のため屋根への負担が比較的大きいですがパワフル給湯の直圧タイプの廉価版です。



ソーラーシステム SJQ-420

集熱器と貯湯タンクセパレート型の強制循環タイプ

集熱器内の不凍液を加熱し循環させ、貯湯タンクにて熱交換するタイプ。貯湯タンクは地上に設置するセパレートタイプです。屋根への負担が少なく、集熱面積が一番大きく取れるタイプで省エネに貢献できます。価格は60万円～となります。さらに6月には熱源機と貯湯タンクが一体になった省スペース型のソーラーシステムも新発売しています。



熱源機一体型ソーラーシステム VF-4140

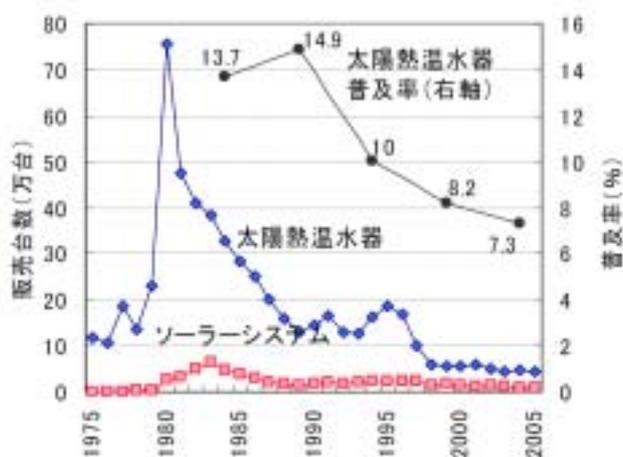
3、進む自治体の補助制度

地球温暖化が進む中、自然のエネルギーを利用する気運が高まっています。住宅の太陽熱利用機器に関しても、国内で各自治体が助成制度を実施。東京都では既に 10 以上の区・市で導入しているほか、全国各地で今後さらに制度の充実と利用の高まりが予測されます。

助成制度を実施している地方自治体については(社)ソーラーシステム振興協会の HP にて閲覧が可能です。

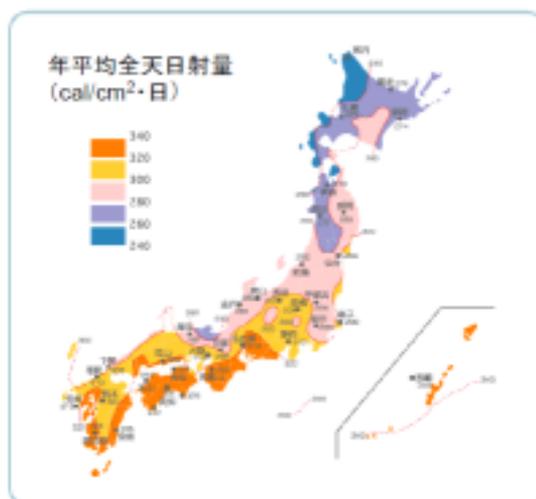
URL: (社)ソーラーシステム振興協会 <http://www.ssda.or.jp/assist/index.html>

4、温水式ソーラー機器の需要と普及率



出典：電力中央研究所報告

5、地域別日射量



出典：NEDO『ソーラー建築デザインガイド』

5、「エコファースト」 当社の取り組みが、ガス石油機器業界で初めて環境大臣の認定を受ける

当社では、太陽熱温水器のほかにも、熱効率の向上や CO2 排出量削減を実現する製品開発や、製造過程での環境への負荷軽減など、事業全般にわたり環境について取り組んでいます。その一環として、2009 年 3 月、環境省による「エコファースト制度()」において、「温水機器使用時の CO2 総排出量の削減」「CO2 の見える化の推進」など、製品及び事業活動を通じて低炭素社会の構築に取り組むことを宣言し、ガス石油機器業界で初めて環境大臣の認定を受けました。



当社は今後も「太陽熱温水器」を含む、環境配慮型の製品を通じてエコロジーに取り組めます。

エコファースト制度...環境省が 2008 年 4 月に創設。業界のトップランナー企業が、環境保全に関する行動をさらに促進していくため、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度。基本 1 業種 1 社認定 (2009 年 9 日現在認定企業は 25 社) 認定された企業のみがエコファーストマークを使用できる。

< ノーリツの エコ・ファーストの約束 >

1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。
4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。